
プロジェクト 共通支配下の企業結合

項目 第 457 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料は、第 457 回企業会計基準委員会（2021 年 5 月 18 日開催）において聞かれた主な意見をまとめたものである。

聞かれた意見（第 457 回企業会計基準委員会）

（アウトリーチ（意見聴取）の進め方に関する意見）

2. 仮に、本 DP¹の提案のとおり最終基準化した場合、それが将来的に我が国の会計基準に影響を及ぼす可能性があることを考慮すると、広範にアウトリーチ（意見聴取）を実施しないことが適切かは疑問である。

（本 DP に対する事務局の現時点での気づき事項に関する意見）

3. 特に子会社が上場している場合、その企業の株式に投資している非支配株主にとって、企業グループ外の取引と企業グループ内の取引とで会計処理が不統一になることは違和感がある。
4. 本 DP の提案は、移転先企業における非支配株主の情報ニーズを中心に議論を展開している。しかし、企業結合にはさまざまな形態の取引や複雑な取引があるため、移転元企業の非支配株主の存在を含め、企業結合の利害関係者全体に与える影響を考慮して検討すべきである。

以 上

¹ 本資料において「本 DP」とは、IASB が 2020 年 11 月に公表したディスカッション・ペーパー「共通支配下の企業結合」を指す。